

## 第3回 公開講座報告

# 「単語構成」の学習

第3回公開講座を、8月23日（土）に越谷市中央市民会館にて行いました。「単語構成」は文字学習の導入期の学習です。文字カードと単語構成板を用いて学習を行います。単語構成の学習を通して、文字が読めるようになるだけでなく、単語の意味を理解し、概念形成を図ることができます。

講師の宮城武久（つばき教育研究所理事長）から、

- ①学習を進める上での文字の選び方
- ②文字カードの呈示の仕方
- ③文字カードの読ませ方
- ④誤選択肢の用い方、撤去の仕方
- ⑤適切なことばかけを用いた書字の仕方

などについての説明がありました。

本研修のメインは二人一組（先生役と子ども役を交替で行う）になって行う演習です。

「指導者役の人の視線が教材に行ってしまうがちである。指導者は、子どもの目を見ることが大切」というアドバイスが繰り返しありました。

以下は参加された方々の感想です。

“文字を覚える”ためにも概念を形成するためにも「単語構成」は大切な学習だということがわかりました。今まで文字を教えることが出来なかった生徒にも今日学んだ丁寧なステップで行ってみようと思いました。

特別支援学校教諭

演習がとてもわかりやすく具体的に教えていただきよかったです。子どもの視線を教師がよく見て呈示すること、見ない時の視線の誘導の仕方など子どもに向かう基本を教えて頂きました。生活場面でも子どもの視線を注意深く見ていきたいと思いました。

特別支援学校教諭

今年度公開講座にご参加いただきありがとうございました。

